

# 楽<sup>2</sup>ライブラリ パーソナル スタートアップガイド

このスタートアップガイドは、楽<sup>2</sup>ライブラリのインストール方法、基本的な操作方法について説明しています。

楽<sup>2</sup>ライブラリの応用的な機能について知りたいときは、ヘルプまたは「ユーザーズガイド」を参照してください。

楽<sup>2</sup>ライブラリのエクスポート機能によって生成された「ビューア付きデータファイル (\*.exe)」は、個人的な範囲を超える使用目的で、無断で複製・転用、およびネットワークを通じて配信することは禁止されています。

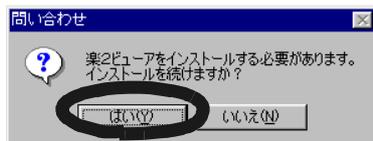


a Fujitsu company



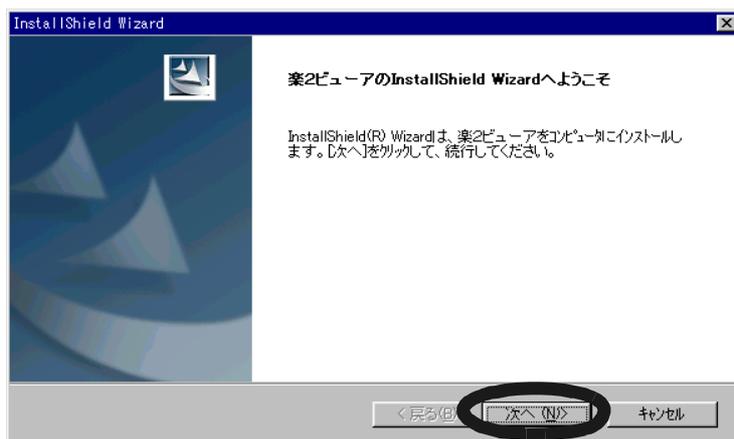
# インストールする ②

## 5. [はい] ボタンをクリックします。



楽<sup>2</sup>ビューアのインストールを開始する画面が表示されます。

## 6. [次へ] ボタンをクリックします。



## 7. 表示される画面に従って、インストールを進めます。

楽<sup>2</sup>ビューアのインストールが完了すると、「InstallShield Wizard」の画面が表示されます。

## 8. [完了] ボタンをクリックします。

## 9. Windows<sup>®</sup> 98 または Windows<sup>®</sup> Me の場合、プリンタのプロパティ画面が表示されるので、[OK] ボタンをクリックします。

再起動を要求された場合、パソコンを再起動してください。

これで、インストールは完了です。



インストールが完了すると、デスクトップ上に、楽<sup>2</sup>ライブラリ



のプログラムアイコン ( ) が作成されます。

# 楽<sup>2</sup>ライブラリを起動する

楽<sup>2</sup>ライブラリを起動します。

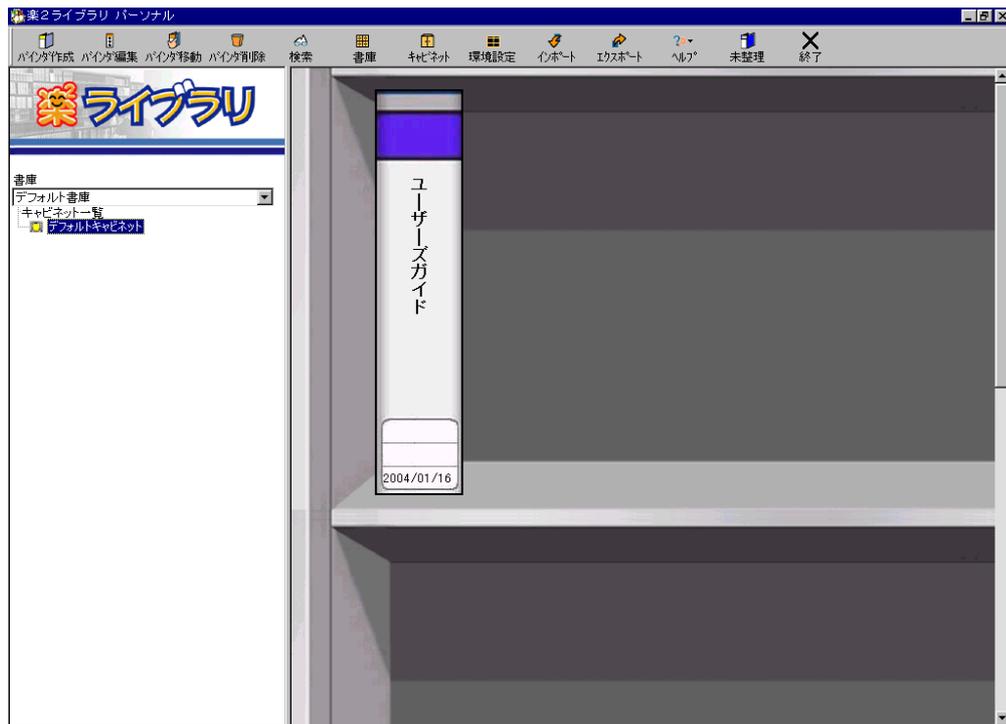


## 1. デスクトップ上に作成された楽<sup>2</sup>ライブラリのプログラム



アイコン (  ) をダブルクリックします。

楽<sup>2</sup>ライブラリの画面 ( バインダ管理画面 ) が表示されます。



# データの入れ物を準備する ①

楽<sup>2</sup>ライブラリを使うには、まず、データを管理するための入れ物（「書庫」「キャビネット」「バインダ」）を作成する必要があります。

## 書庫を作成する

キャビネットを管理するための書庫を作成します。



1.  をクリックします。

[ 書庫管理 ] ダイアログボックスが表示されます。

2. 作成する書庫の名前を全角 20 文字（半角 40 文字）以内で入力します。



3. [ 追加 ] ボタンをクリックします。

書庫が作成されます。



次に、作成した書庫の中に、キャビネットを作成しましょう！

# データの入れ物を準備する ②

## キャビネットを作成する

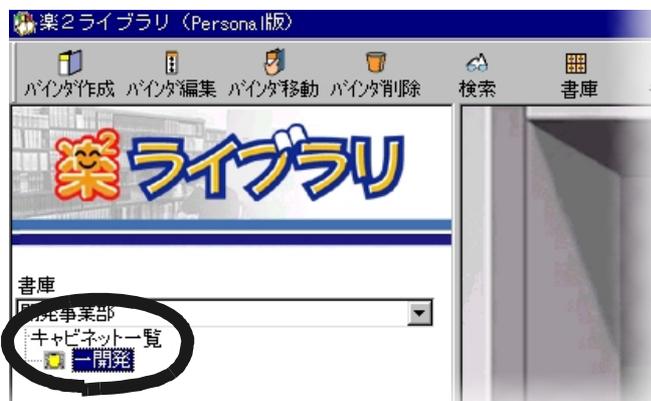
**1** で作成した書庫の中に、キャビネットを作成します。



1.  をクリックします。  
[キャビネット管理] ダイアログボックスが表示されます。
2. キャビネットの名前を全角 16 文字 (半角 32 文字) 以内で入力します。



3. [追加] ボタンをクリックします。  
書庫にキャビネットが作成されます。



次に、作成したキャビネットの中に、バインダを作成しましょう！

# データの入れ物を準備する ③

## バインダを作成する

②で作成した作成したキャビネットの中に、バインダを作成します。



1.  **バインダ作成** をクリックします。

キャビネットに、バインダが作成されます。



新規作成したバインダは、「新規バインダ」という名前になっています。

次に、バインダの名前（タイトル）や日付などを設定しましょう！

# データの入れ物を準備する ④

## バイндаを編集する

③で作成したバイндаに対して、名前（タイトル）や日付を設定します。



1. バイнда（新規バイнда）を選択します。



- バイндаの背表紙をクリックすると、バイндаが選択されます。
- バイндаを選択すると、バイндаが赤い枠で囲まれます。



2. バイнда編集をクリックします。

[バイндаの編集] ダイアログボックスが表示されます。

3. 各項目を設定します。

ここでは、以下のような情報を設定してみます。

バイндаの編集

タイトル: (1列目) 企画書 ※画面上では、各列12文字まで表示されます。  
(2列目)

管理情報

上段: 一開発  
中段: 資料  
下段(日付): 04/02/10

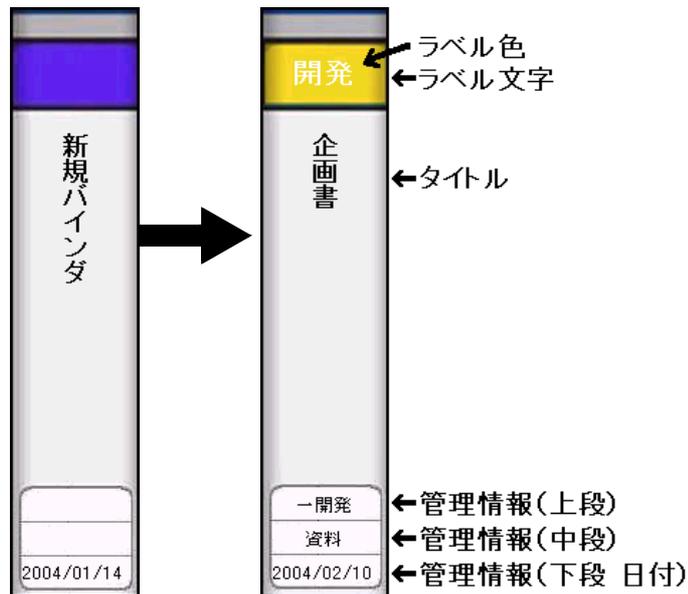
ラベル色: 黄  
ラベル文字: 開発  
開き方向:  左から開く  右から開く  
目次:  あり  なし  
ページ内の余白:  あり  なし  
キーワード:

OK キャンセル ヘルプ(H)

# データの入れ物を準備する ⑤

## 4. [OK] ボタンをクリックします。

設定内容に従って、バインダが編集されます。



これで、データを格納するためのバインダが準備できました。

次に、作成したバインダの中にデータを格納してみましょう。

- ScanSnap から原稿を読み取る場合は、「ScanSnap から原稿を読み取る」に進んでください。
- 電子データを取り込む場合は、「Word のデータを取り込む」に進んでください。

# ScanSnap から原稿を読み取る ①

コンパクトカラーレスキャナ ScanSnap ( fi-4110EOX、 fi-5110EOX ) を使用して原稿を読み取って、バインダに追加します。

ScanSnap で読み取る場合、まず、楽<sup>2</sup>ライブラリと ScanSnap を連携するための準備が必要になります。  
この操作は、一度おこなえば、次回以降は不要です。

## 楽<sup>2</sup>ライブラリと ScanSnap を連携する



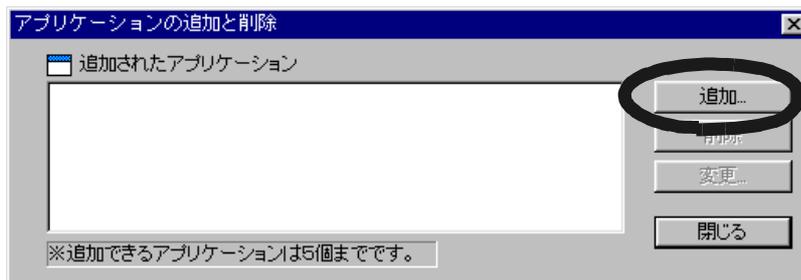
- fi-5110EOX をご使用の場合、手順「1.」～「7.」の操作は不要です。ScanSnap Manager の設定画面で、手順「8.」(表示名は「楽<sup>2</sup>ビューア」)のみおこないます。
- fi-5110EOX をご使用の場合、[ アプリ選択 ] タブの [ オプション ] ボタンをクリックし、表示される [ オプション ] ダイアログボックスの「原稿の向きを自動的に補正します」のチェックを外しておくことを推奨します。



### 1. ScanSnap Monitor の設定画面を起動し、[ アプリ選択 ] タブ内の [ 追加と削除 ] ボタンをクリックします。

[ アプリケーションの追加と削除 ] ダイアログボックスが表示されます。

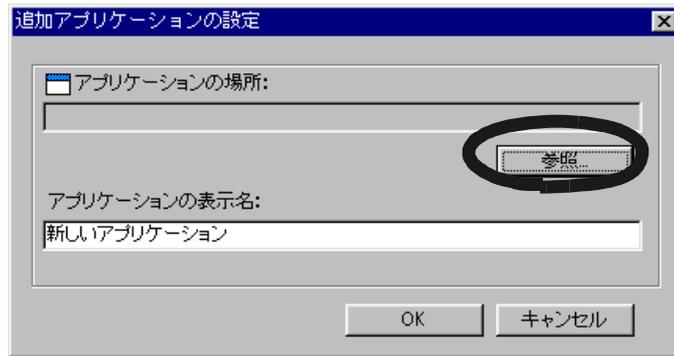
### 2. [ 追加 ] ボタンをクリックします。



[ 追加アプリケーションの設定 ] ダイアログボックスが表示されます。

# ScanSnap から原稿を読み取る ②

## 3. [参照] ボタンをクリックします。



[追加アプリケーションの設定] ダイアログボックスが表示されます。

## 4. ビューア画面 (楽2 ビューア) がインストールされているフォルダ内の「SSLaunch.exe」を設定して、[開く] ボタンをクリックします。

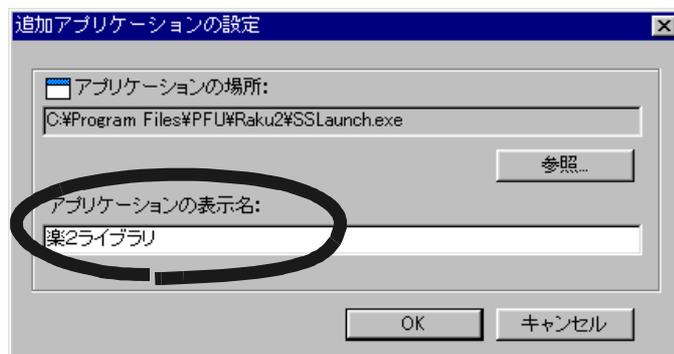
例) C:\Program Files\PFU\Raku2\SSLaunch.exe

楽<sup>2</sup> ライブラリのショートカットアイコンを設定しないでください。

[追加アプリケーションの設定] ダイアログボックスの

「アプリケーションの場所」に、設定内容が表示されます。

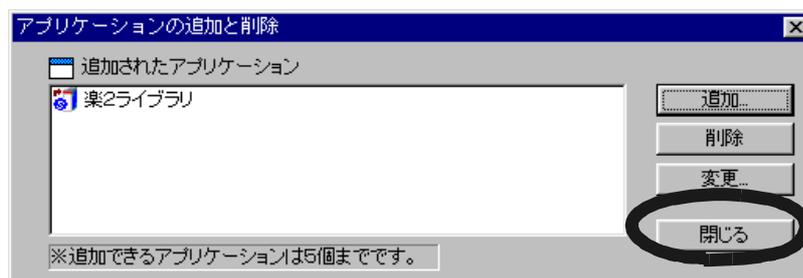
## 5. 「アプリケーションの表示名」で、手順「4.」で設定した「SSLaunch.exe」に対応させる表示名を、分かりやすい名称に変更します。



## 6. [OK] ボタンをクリックします。

[アプリケーションの追加と削除] ダイアログボックスに、設定内容が表示されます。

## 7. [閉じる] ボタンをクリックします。





# Word のデータを取り込む

パソコン上のフォルダからファイルを取り込んで、バインダに追加します。



操作

1. 9 ページで作成したバインダ（企画書）を、ダブルクリックして表示します。



2. ビューア画面の **ファイル** をクリックします。

[ファイルを選ぶ（イメージ変換時、関連付けアプリの印刷機能を使用します）]ダイアログボックスが表示されます。

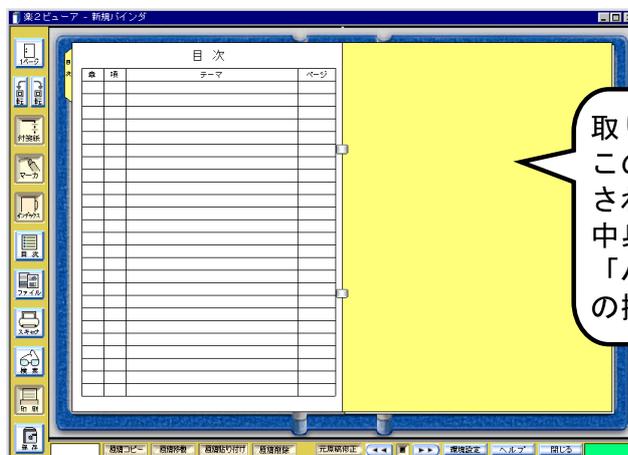
3. 取り込む Word データを指定して、[開く] ボタンをクリックします。



ヒント

取り込むファイルは、複数指定できます。

取り込んだ Word データがバインダに追加されます。



取り込み直後は、このような画面が表示されます。バインダの中身を見る場合は、「バインダを閲覧する」の操作をします。

続けて別の Word データを取り込む場合、手順「2.」～「3.」を繰り返します。この場合、現在表示されているページの前にデータが取り込まれます。

# バイндаを閲覧する

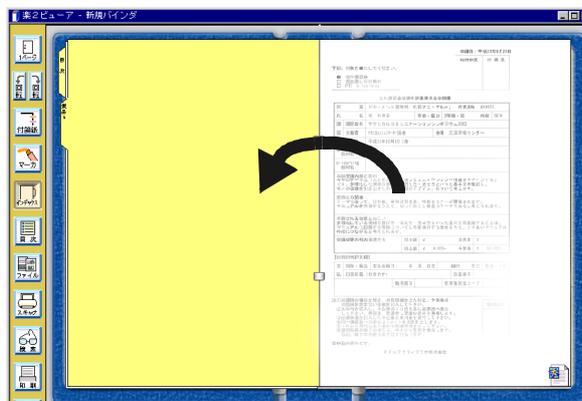
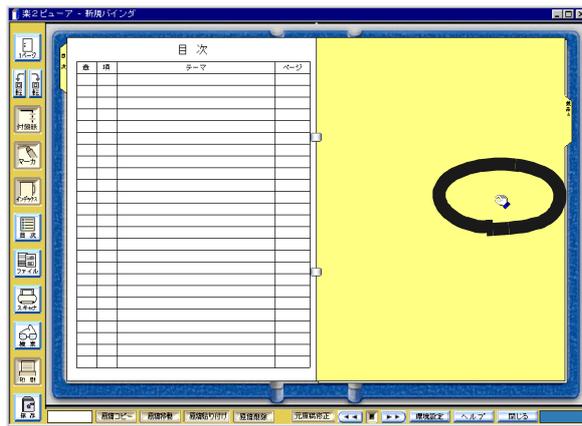
「ScanSnap から原稿を読み取る」または「Word のデータを取り込む」でバイндаに格納したデータを閲覧します。



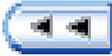
1. ビューア画面の左端または右端にマウスポインタを移動し、

マウスポインタが指形 (  または  ) になったときにクリックします。

ページがめくられます。



連続して自動でページをめくることができます。

- 左のページを連続してめくる場合、 をクリックします。
- 右のページを連続してめくる場合、 をクリックします。
- 連続めくりを停止する場合、 をクリックします。

次のステップに進みましょう！

# 楽<sup>2</sup> ライブラリを終了する

楽<sup>2</sup> ライブラリを終了します。



1. ビューア画面の  をクリックします。  
ビューア画面が閉じ、バイнда管理画面に戻ります。

2. バインダ管理画面の  をクリックします。  
バイнда管理画面が閉じ、楽<sup>2</sup> ライブラリが終了します。

これで、楽<sup>2</sup> ライブラリの基本操作は終了です！



楽<sup>2</sup> ライブラリでは、ここで紹介した機能のほかに、便利な機能がたくさんあります。  
詳細は「ユーザーズガイド」またはヘルプを参照してください。



a Fujitsu company

---

## 楽<sup>2</sup>ライブラリ スタートアップガイド

P2WW-1810-01

発行日 2004年2月

発行責任 株式会社 PFU

Printed in JAPAN

---

本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。  
本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の  
権利の侵害については、当社はその責任を負いません。  
無断転載を禁じます。